

REPORT

第3回香港・華南地区日系企業 ビジネス交流会

1. はじめに

福岡銀行は6月4日、香港に拠点(支店・駐在員事務所)を有する他の地方銀行16行と日本貿易振興機構(ジェトロ)との共催で、中国広東省深圳市内のホテルにおいて香港および中国華南地区に進出されている日系企業を対象に「第3回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」を開催しました。

本交流会は、「変化の激しい中国のビジネス環境について正確な情報が欲しい」「同じ環境下で頑張っている日系企業同士のネットワークを広げたい」といった日系企業のお取引先のご要望にお応えするものです。主催者である地方銀行各行のお取引先で、当該地区に進出されている企業(一部日本からの参加あり)を対象に、セミナーや商談会、懇親会等を行い、異業種間での交流および情報交換の場をご提供致しました。

今回の参加企業数は165社、参加者総数は325名(来賓・銀行関係者含む)にもものぼり、盛大に執り行うことができました。今回は本交流会の内容についてご紹介します。

2. 交流会の内容

(1)ジェトロ進出企業支援セミナー

ジェトロ広州による「華南経済の今 世界の工場から世界の市場へ」、「華南地区におけるビジネス環境の変化について」というテーマで、広東省内の情勢や雇用状況等に関するセミナーが開催されました。

質疑応答の時間も設けられ、参加者からは企業が直面している様々な問題等についての質問が飛び交いました。またセミナー終了後、ジェ



セミナー開催風景

トロ広州による個別相談も行われました。

(2)ビジネスニーズ掲示板

交流会では、商談や参加企業の交流がスムーズに進むように事前に各参加企業より、売り・買い・受託・委託などの情報を募集(76件の応募あり)し、「ビジネスニーズ掲示板」という形で、本交流会当日、会場(2ヵ所)で掲示を行い情報提供致しました。

参加企業のご担当者が、掲示板の内容を確認しながら、自社ニーズに該当する企業を見て回り、後日面談を行いたい企業がある場合は、個別面談希望カードに、その企業名を記入した後、取引銀行へカードを渡します。



ビジネスニーズ掲示板



個別商談コーナーの様子

取引銀行は後日、対象企業の取引銀行へ連絡し、双方のお取引先が確実に面談の機会を得られるように段取りする流れとなっており、効率的な面談が可能となっています。

(3)商談テーブルによる個別商談

個別商談を望まれる企業には、商談が可能なテーブルを設置したうえで、実際に商品サンプルを展示したり、パンフレット等を配布するなど、自社アピールをして頂きました。

参加企業のご担当者が自由に各テーブルを回りながら、興味ある企業同士で自由に商談を行



懇親会開催風景

えるようになっています。

当日は、弊行のお取引先を含む31社が商談テーブルを設置されて、約1時間程度、熱心に商談を行われていました。

(4)懇親会

懇親会は、立食パーティー形式で約2時間行われました。

本交流会にご参加頂いた企業のご担当者同士で、和気あいあいとした雰囲気の中、活発な意見交換が行われるなど、会場は盛り上がりを見せていました。

開催概要

名 称	第3回「香港・華南地区日系企業ビジネス交流会」
日 時	平成22年6月4日(金)
場 所	深圳シャングリ・ラ・ホテル (深圳香格里拉大酒店)
内 容	ジェットロ・進出企業支援セミナー ビジネス交流会
対象企業	香港・華南地区に進出している地 銀各行のお取引先日系企業など
参加費	無料
主 催	福岡銀行及び香港に拠点を有する 地方銀行16行との共同主催
共 催	日本貿易振興機構(ジェットロ)

3.最後に

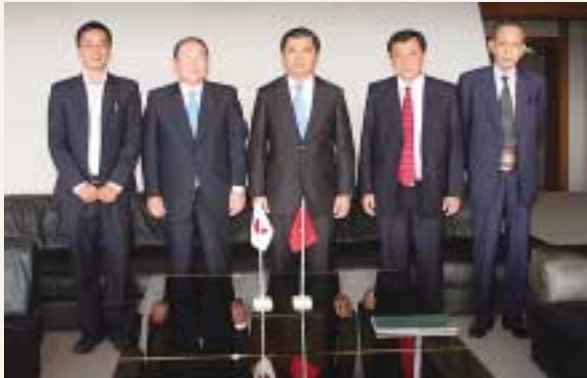
昨年は、新型インフルエンザの影響が懸念されたことから、本交流会の開催を断念することとなりましたが、今回は多数の企業にご参加頂き盛大に開催することが出来ました。

参加企業のアンケート等を参考にさせて頂き、引き続き、香港・華南地区に進出される企業への情報提供や新しいビジネスチャンス発掘の機会を提供する場としてのご期待に応えられるよう、お客様のサポートを行って参ります。

(香港駐在員事務所 末松 尚樹)



ベトナム・ロンアン省からの訪問団、 親和銀行を表敬訪問



鬼木頭取（左から2番目）とベトナム・ロンアン省からの訪問団との記念撮影

はじめに

去る6月20日から25日にかけて、ベトナム・ロンアン省の知事や民間企業の代表者等によって結成された訪問団が来日されました。訪問団一行は、今回、福岡市と長崎市で経済交流を目的とした講演会の開催に合わせ、ベトナムへの工場進出を予定している佐世保市内の企業及び親和銀行に表敬訪問されました。

ここでは、ベトナム・ロンアン省からの訪問団の親和銀行訪問の様態についてご紹介します。

ベトナムおよびロンアン省について

ベトナムは、面積32万9,247平方キロメートル、人口8,579万人、GDPは915億米ドル（2009年現在）です。日本と比較すると、面積は9割弱、人口は7割弱、GDPは1.6%程度となっており、面積や人口の規模から比べると、GDPの規模は極めて小さいことがわかります。また、就業人口の構成割合をみると、農林業従事者が全体の過半数を占める「農業国」ですが、近年は海外からの投資による工場建設が増えていること等から、工業従事者の割合は増加傾向にあります。

今回訪問団が結成されたベトナム・ロンアン省は、ベトナム南部、「メコンデルタ」と呼ばれるメコン川下流域に位置し、肥沃な農地を抱える地域ですが、産業構成をみると、第1次産業38.8%、第2次産業32.6%、第3次産業28.6%となっており、「産業の工業化」の状況が窺えます。

また、経済の中心地であるホーチミン市に隣接する省でもあることから、10分おきにホーチミン市行きのバスが運行されており、交通インフラ等都市環境の整備が進められています。さらに、2009年までに直接投資案件が317件、投資金額は26.3億ドルに達しており、日本からの進出企業は3社、そのうち1

社が福岡県から中古農業機械の加工・再生する工場を立地するなど、優遇税制措置が受けられることや安い賃金で優秀な人材を確保できること等を背景として、海外からの工場進出が盛んになっています。

ベトナム・ロンアン省からの訪問団、佐世保市へ

今回、ロンアン省から訪問団に参加された方々は知事をはじめ総勢19名で、6月22日福岡市、24日長崎市の日程で、同省主催により、経済交流を促進するためにベトナムおよびロンアン省の投資環境に関する経済セミナーが開催されました。

22日のセミナー終了後、福岡市を出発した一行は、従来よりベトナム人研修生の受入を行い、今般ベトナムに工場を建設する予定の佐世保市内の企業を訪問された後、訪問団を代表して、ロンアン省知事のズオン・クオック・スアン氏などが親和銀行を表敬訪問されました。一行は鬼木頭取と面談し、親和銀行本店内の展望室から佐世保市中心部などの眺望を楽しまれた後、頭取から知事への記念品の贈呈および記念撮影が行われました。

ベトナムではロンアン省をはじめとして経済交流促進のために積極的な取り組みが行われており、今後、更なる交流の活発化が期待されます。

ふくおかフィナンシャルグループでは、大連、上海、香港の3ヶ所に海外営業拠点をもち、海外直接投資や貿易に関する情報収集等を行っております。

今回紹介しましたベトナムにつきましては、福岡銀行香港駐在員事務所にて海外進出や貿易等に関する情報のご提供を行っております。

ベトナム・ロンアン省の位置図

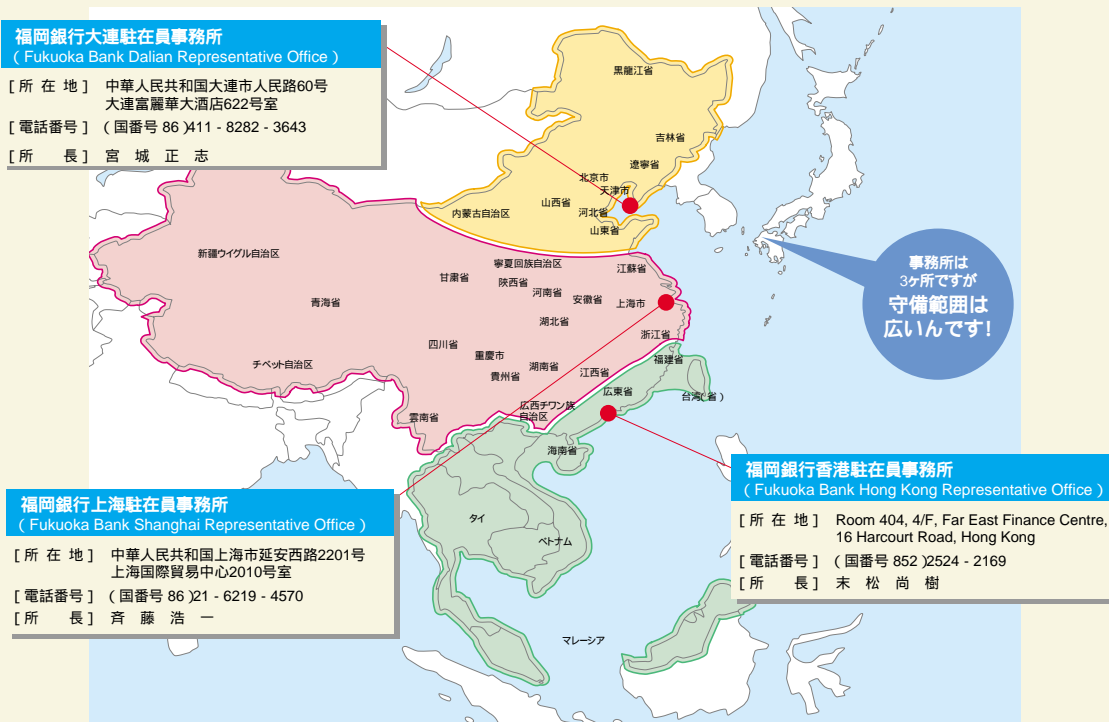


海外拠点紹介

海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。



いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

 福岡銀行

 熊本ファミリー銀行

 親和銀行